

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 6年 3月 7日

事業所名 ネバーランドイースト

保護者等数(児童数) 22名 回収数 17 割合 77 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	1		1	その日の人数によって変化すると思うのでもう少し広いと嬉しい。	スペースの確保を検討する。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	13			4		細やかな説明を行う。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	3		5		事務所内の説明を細やかに行う。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	17					継続していく。
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	16	1				より工夫する。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	1	3	13	今のところなくて良い。特に希望しない。	希望者を募り交流を考える。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17					継続していく。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16			1		より丁寧にお話をしていく。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17					継続していく。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15	1		1	保護者同士の連携は必要としない。いつか参加したいが休みが含まれない。夏祭りに参加させて頂きました。ありがとうございました。	曜日等にも考慮し交流会の開催を増やす。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11			6		迅速かつ適切な対応を行っていく。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17					継続していく。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15			2		HPの周知をしっかりとしていく。
非常時 等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	17					継続していく。
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16			1		細やかな説明を行う。
満足 度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14			3		細やかな説明を行う。
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	17					より楽しむことのできる支援内容を検討する。
	18	事業所の支援に満足しているか	16	1			報告や写真はデジタル化を進めて頂きたい。	デジタル化についても検討する。

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公

討議年月日:令和 5年 2月 10日

公表:令和 5年 3月 7日

事業所名 ネバーランドイースト

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9		パーテーションや小部屋を設け、個別ケアが出来るよう工夫した環境作りをしている。	音に敏感な子の為により防音されているスペースを作る。
	2	職員の配置数は適切である	9		しっかりと職員配置を行っている。	継続していく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6		ワンフロアでほぼ段差がない。	車いす等の受け入れが難しい為段差がある場所は工夫して段差をなくす方法を検討する
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9		毎日のミーティングに加え、些細なことでもスタッフ同士で話し合いを行うようにしている。	継続していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9		毎年の自己評価表及びイベント毎にも様々なアンケートを行っている。	より業務改善につなげる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9		HPIに公表している。	継続していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9		過去に行ったことがある。	再度行う。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		様々な研修に参加している。	継続していく。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9		しっかりと行っている。	継続していく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9		使用している。	継続していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9		偏ったプログラムにならないようスタッフで話し合い、様々な人が楽しめるような取り組みを考えている。	継続していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		毎日の取り組みを記録に残し、過去を遡り、被らないようにしている。	継続していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9		長い時間事業所にいられる日は、取組のほかに様々な活動案を用意して利用者様と相談しながら決めている。	自立に繋げることのできる課題も設定していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9		行っている。	継続していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		午前には常勤会議、午後には非常勤含めた全スタッフ会議を行っている。	忙しい日こそ、内容が疎かにならないよう丁寧な会議を心がける。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9		必ず行い、共有している。	継続していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		連絡帳、日報など様々なものにおいてしっかりと行っている。	継続していく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9		半年に一度は必ず行い、それ以外にも必要に応じてモニタリングを行っている。	継続していく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	9		複数組み合わせを行っている。	継続していく。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	管理者(児童発達管理責任者)が必ず参加し、日中担当している職員も共に参加させてもらうことが多い。	継続していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	どの学校の先生とも基本は連絡を取り合えるようにさせて頂いていて、様々なことの情報共有をしっかりとさせて頂いている。	継続していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	9	親御様を通して行っている。	継続していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9	情報共有をさせて頂くことが多い。	継続していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	同グループの障害福祉サービス事業所へ移行される時にはスタッフ間で情報共有をし情報も提供している。	同グループ以外の施設へ移行される方にもわかりやすく伝達が出来よう工夫をしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	研修には積極的に参加するようにしている。	継続していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	4 スタッフ同士の交流は時折あるが、お子さま同士の関わりはほぼ行うことができていない。	交流やイベントに出かける機会を増やす。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8	参加している。	継続していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	日々の伝達をしっかりと行い、その都度話し合いが出来ている。	継続していく。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9	ペアレントプログラムを東区部会で行い、保護者様にも参加してもらい、講師の資格をスタッフも持っている。	継続していく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	契約時に説明をしている。	継続していく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	日頃から保護者の方とは密に連絡をとり、話をしている。	継続していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	親御様同士の交流の場を提供している。	曜日等も考慮し参加しやすいよう開催を増やす。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	職員同士の伝達を強化し、迅速な対応が出来るよう体制を整えている。また再発防止のための相談もすることができている。	継続していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	毎月のお便りやインスタグラムの更新に力を入れている。	継続していく。
	35	個人情報に十分注意している	9	従業員に対しては個人情報の取り扱いの同意書を記入してもらい、利用者様に対しても写真許可を記入してもらうなど徹底して行っている。	継続していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	視覚的支援を取り入れるようにしている。	継続していく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	1 地域の方にチラシなどでお知らせし、参加を呼び掛けてい	気軽に来ていただけるような催しの検討を行う。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	書面を作成し、契約時に説明している。	継続していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	月に一度行っている。	継続していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	定期的に研修に参加している。	アンケートで自分の行動を顧みる機会を増やす。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	計画書の他にも別の書類で同意を頂いている。	日々変化のある事なのでしっかりとその都度更新しながら業務改善を行っていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	保護者様と情報共有しながら行っている。	継続していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	日報にヒヤリハットの欄を作り、1日を振り返って記載しやすくしている。	継続していく。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 6年 3月 7日

事業所名 ネバーランドイースト

保護者等数(児童数) 16名 回収数 11 割合 68%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	1	1		若干狭いかなと思う。	スペースの確保を検討する。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10			1		適切であることを誰が見てもわかりやすいようにする。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	1		3	本人から聞けないのでわからない。	事業所内の説明をしつかりとする。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11					継続していく。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	9	1		1		細やかな説明をする。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9		1	1	家族支援、地域支援が分からない。	細やかな説明をする。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10			1	実際の事は見たことがないので。	継続していく。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9	1		1	土曜のみの利用で毎回同じだと思う。	より工夫する。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3		3	5		希望者を募り、交流を考える。
	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10		1		特別企画(お祭り)の際の負担額が分かりにくかった。	継続していく。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	10			1		説明を更に強化し、継続していく。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	4	2	1	4		ペアレントプログラム研修について説明を行い、研修が行われる際には希望者を募る。

保護者への説明等	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	11					継続していく。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10			1		継続していく。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	2		3	開催はあるが保護者同士という感じではない。	曜日等にも考慮し、参加しやすいよう開催を増やす。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	9	1		1		迅速かつ適切な対応を行っていく。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10			1	連絡ノートで子供の様子を伝えやすい、ラインで繋がっていると連絡がすぐにとれて助かります。本人から聞けないので分からないが私は○。	継続していく。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10			1		HPの周知をしっかりとしていく。
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	10			1		継続していく。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	8			3		説明を更に強化し、継続していく。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9			2		説明を更に強化し、継続していく。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	8	2		1	いつも笑顔で帰ってくるので楽しかったんだなあと思います。本人から聞けないので分からない。	より楽しむことのできる支援内容を検討する。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	10			1	毎回違った取組を考えてもらえてありがたいと思う。	継続していく。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公

討議年月日:令和 6 年 2 月 10日

公表:令和 6年 3 月 7日

事業所名 ネバーランドイースト

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9		パーテーションや小部屋を設け、個別ケアが出来るよう工夫した環境作りをしている。	音に敏感な子の為に防音されているスペースを作る。
	2 職員の配置数は適切である	9		しっかりと職員配置を行っている。	継続していく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		ワンフロアでほぼ段差がない。	車いす等の受け入れが難しい為段差がある場所は工夫して段差をなくす方法を検討する。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9		活動に合わせて空間を仕切っている。利用者様の遊び方によって仕切る等の工夫をしている。	継続していく。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9		毎日のミーティングに加え、些細なこともスタッフ同士で話し合いを行うようにしている。	継続していく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9		毎年の自己評価表及びイベント毎にもアンケートを行っている。	より業務改善につなげる。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9		直接配布し、HP上で公表している	継続していく。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9		過去に行ったことがある。	再度行う。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		様々な研修に参加している。	継続していく。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9		しっかりと行っている。	継続していく。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9		使用している。	継続していく。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9		発達支援を中心に家族支援も行っている。	地域支援も行う。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9		計画は職員が把握共有をし、ミーティングの際にそれに沿った支援ができるように話し合いをしている。	継続していく。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	9		どの年齢の利用者様にも楽しむことができるよう活動プログラムを話し合っている。	継続していく。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		毎日の取り組みを記録し過去も遡り同じ内容にならないように工夫している。担当制にしている。	継続していく。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	9		行っている。	継続していく。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		午前には常勤会議、午後には非常勤含めた全スタッフ会議を行っている。	忙しい日こそ、内容が疎かにならないよう丁寧な会議を心がける。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9		必ず行い、共有している。	継続していく。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		連絡帳、日報など様々なものにおいてしっかりと行っている。	継続していく。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9		半年に一度は必ず行い、それ以外にも必要に応じてモニタリングを行っている。	継続していく。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	管理者(児童発達管理責任者)が必ず参加し、日中担当している職員も共に参加させてもらうことが多い。	継続していく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9	様々な機関と連絡をとり、連携して支援することを心がけている。	福祉的機関の情報をもっと知り、必要な支援を提供していく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	8	利用者様の医療機関情報を把握している。医療提携しているお医者様に定期的に訪問診療をお願いしている。	継続していく。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	8	親御様を通して行っている。	継続していく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	情報共有している。	継続していく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	情報共有している。	継続していく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	研修には積極的に参加するようにしている。	継続していく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	コロナ流行以降は参加していない。	交流やイベントに出かける機会を増やす。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7	参加している。	継続していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	日々の伝達をしっかりと行い、その都度話し合いが出来ている。	継続していく。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	ペアレントプログラムを東区部会で行い、保護者様にも参加してもらい、講師の資格をスタッフも持っている。	継続していく。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	契約時に説明をしている。	継続していく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9	親御様の意向を確認しつつ、支援計画の説明、同意を得ている。	継続していく。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	徹底して行っている。	継続していく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	親御様同士の交流の場を提供している。	曜日等も考慮し参加しやすいよう開催を増やす。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9	職員同士の伝達を強化し、迅速な対応が出来るよう体制を整えている。また再発防止のための相談もすることができている。	継続していく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	毎月のお便りやInstagram更新に力を入れている。	継続していく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9	従業員に対しては個人情報の取り扱いの同意書を記入してもらい、利用者様に対しても写真許可を記入してもらうなど徹底して行っている。	継続していく。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	視覚的支援を取り入れるようにしている。	継続していく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9	地域の方にチラシなどでお知らせし、参加を呼び掛けている。	気軽に来ていただけるような催しの検討を行う。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	書面を作成し、契約時に説明している。	継続していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	月に一度行っている。	継続していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9	状況把握をし、対応マニュアルを作成している。	医療機関との連携もとっていく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	保護者様と情報共有しながら行っている。	継続していく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	日報にヒヤリハットの欄を作り一日を振り返って記載しやすいようにしている。	継続していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	定期的に研修に参加している	強化していく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9	必要な利用者様に対しては、事前に計画を立て書面も作成し同意を得ている。	継続していく。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。